

一般質問順序予定表

(令和8年9月定例議会)

	9月14日(月) 午前10時から	9月15日(火) 午前10時から	9月16日(水) 午前10時から
1	6番 伊藤 欣哉 議員	9番 大壁 洋平 議員	1番 佐藤 千佳夫 議員
2	18番 武田 恵子 議員	8番 市原 栄子 議員	3番 佐藤 弘 議員
3	2番 カンパリーニ 杏子 議員	13番 守屋 紀彦 議員	11番 後藤 啓 議員
4	21番 池田 博夫 議員	22番 松本 国博 議員	24番 佐藤 猛 議員
5	5番 遠田 敏子 議員	12番 富樫 覚 議員	19番 後藤 仁 議員
6	4番 杉山 道弘 議員	23番 市村 浩一 議員	

議会事務局

一 般 質 問 （令和８年９月定例議会）

６番 伊 藤 欣 哉 議員

（一括方式）

- １ 持続可能な飛島に転換していくためには
 - （１）飛島地域振興の基本理念と市の責務は
 - （２）島民の生活維持を最優先とする原則
 - （３）山形県、国、島民、事業者等との連携
 - （４）持続可能な飛島を創るための基本計画の策定
 - （５）施策の状況を定期的に議会へ報告する仕組み

- ２ 川南地区の熊対策について
 - （１）川南に出没する熊についての分析と対策は
 - （２）さらなる捕獲体制の強化が必要では

18番 武田 恵子 議員

(一括方式)

1 こころの相談について

(1) 本市のこころの相談窓口

- ① 相談の実態
- ② 体制は十分なのか
- ③ つながらない場合は、どうすればよいのか

(2) 自殺を防ぐために

- ① 一市民ができることはどんなことか
- ② 相談員は足りているのか

2 男女共同参画社会の実現に向けて

(1) 本市の今年度の取組

- ① これまでの取組
- ② 今後の予定

(2) あなたらしくわたらしく暮らせるまちに

2番 ガンバリーニ 杏子 議員

(一括方式)

1 本市の空き家対策について

(1) 空き家の把握

① 空き家の把握に使用しているデータベース

② 空き家の実態把握

(2) 空き家の利活用

① 「まだ使える空き家」を活かす意識づくり

② 地域・民間事業者等との連携

(3) 飛島の空き家対策

① 過去の空き家調査以降の把握状況と再調査

2 本市の地域おこし協力隊について

(1) 協力隊の受入れとサポート

① 増員に伴う受入れ・相談体制

② 定住に向けた継続的な支援

(2) 協力隊の活動を市民に伝える取組

3 父親の育児参画と父親支援について

(1) 父親の育児参画の変化と父親手帳の活用

(2) 父親手帳の内容と改訂

(3) これからの父親支援

21番 池田博夫 議員

(一括方式)

1 子どもが安心して遊べる「こどもの遊び場」の整備について

(1) 酒田市における子どもの遊び場の現状と課題

① 本市の子どもの遊び場の現状をどのように認識しているか

② 子育て世代から寄せられている遊び場に関する要望は

(2) 酒田市における全天候型の子どもの遊び場の整備

① 新たな施設の整備に対する市の考え方は

② 既存公共施設の活用や民間施設との連携を含めた整備は

(3) 「酒田市こどもの遊び場整備方針」の策定

① 子どもの遊び場を子育て政策の一つとして位置付ける考えは

② 有識者や市民の意見を聞きながら整備方針を策定する考えは

(4) 子ども・子育て世代に選ばれる酒田市を目指して

① 年間を通じて利用できる遊び場を確保する必要性は

② 市長の今後の取組に対する決意は

5 番 遠 田 敏 子 議員

(一括方式)

1 酒田市生活応援商品券事業

(1) 事業者への換金制度

- ① 換金申請から入金まで
- ② 小規模事業者への影響は
- ③ 公平感を持つために

2 AED環境の充実

(1) AEDの設置状況

- ① 現在の設置台数は
- ② メンテナンスの状況は

(2) 女性への配慮は

(3) 必要な場所へ「いち早く」届けるために

3 医療的ケア児支援法の改正

(1) 改正法施行にむけて

(2) 「18歳の壁」を打開する成人期以降の支援の推進

(3) 家族支援の拡充は

4 番 杉 山 道 弘 議員

(一括方式)

1 地域おこし協力隊を活用した地域問題解決と定住促進について

(1) 隊員の採用

- ① 採用人数
- ② インターン制度の活用

(2) 地域住民との関係づくり

- ① 地域住民の理解促進
- ② 三者による課題共有

(3) 本市の活動支援

(4) 任期終了後の定住・起業・就業

- ① 定住率目標値の算出根拠
- ② 任期終了後の定住数・定住率
- ③ 任期終了後に起業した数・就業した数・事業承継した数

2 支援を必要とする子どもの支援体制について

(1) 支援を必要とする子どもの早期発見

- ① 早期発見と支援
- ② 関係機関への情報共有と連携

(2) ヤングケアラーへの支援

- ① 実態調査後の具体的支援
- ② 世帯全体への支援

(3) 不登校の子どもへの支援

- ① 支援体制

② 子どもの居場所と学びの機会

(4) 子どもの声を聴く仕組み

(5) 支援の継続性

9番 大 壁 洋 平 議員

(一問一答方式)

1 酒田市のブランディング戦略

(1) 本市のブランドの核

- ① 「酒田市といえばこれ」と言える強み・魅力
- ② 重点的に磨き上げる地域資源

(2) 推進体制と戦略

- ① 庁内の推進体制と統括・調整機能
- ② ターゲットを明確にした戦略

(3) 取組の成果と課題

- ① 「酒田市を自慢したいと思う市民の割合」の低下
- ② 情報発信による具体的な行動への効果検証
- ③ ふるさと納税寄附件数減少の要因と今後の対応

(4) 今後の展開

- ① 民間事業者、インフルエンサー等との連携

8番 市 原 栄 子 議員

(一括方式)

1 庄内空港・酒田港への「特定利用空港・港湾」指定をめぐる動きと本市の対応について

(1) 「特定利用空港・港湾」制度に対する認識

- ① 制度の目的及び想定される利用
- ② 本市に関わる課題をどのように考えるか

(2) 先行自治体の状況と本市への影響をどのように分析するか

- ① 指定後の利用実態
- ② 市民生活及び安全への影響
- ③ 先行事例の調査・検証

(3) 指定に対する本市の考え方

- ① 国・県からの説明と本市の判断
- ② 市としての主体的な検討を行うべきではないか
- ③ 県への意見表明は

(4) 市民への説明と意向の把握

- ① 市民への情報提供
- ② 市民の意向を反映する取組をどう考えるか

2 次期食育・地産地消推進計画と食育の推進について

(1) 現行計画の評価と次期計画

- ① 現行計画に基づく取組と成果はどうか
- ② 食育基本法の改正及び第5次食育推進基本計画への認識
- ③ 国の新たな方向性を次期計画にどのように反映するか

(2) 子どもから大人まで生涯を通じた食育

- ① 学校等における食育の成果と今後の取組
- ② 若者、働く世代等を対象とした「大人の食育」をどのように進めるか
- ③ 食を知り、自ら選択する力を育てる取組は

(3) 食育と地域農業との連携

- ① 地元農林水産物への理解と地産地消
- ② 環境に配慮した農業と食育
- ③ オーガニックビレッジの取組との連携

13番 守屋紀彦 議員

(一括方式)

- 1 飛島の特定有人国境離島地域への追加指定について
 - (1) 今後のスケジュールと支援内容の協議
 - (2) 定期船運賃の低廉化と準住民の考え方
 - (3) 新造船建造に対する国の財政支援

- 2 「美酒美食のまち酒田」のブランド化推進
 - (1) これまでの取組の成果
 - (2) 他地域との差別化と本市ならではの魅力づくり
 - (3) 市外県外での宣伝や誘客活動を来訪・消費につなげる取組
 - (4) 飲食店の高齢化・人材不足への対応

22番 松 本 国 博 議員

(一括方式)

1 酒田市立図書館事業について

(1) 毎年、年間約2億4千万円の管理運営費

① 「地域づくり基金」からの2億円を一般財源からの拠出

(2) 経費や業務内容の精査と業務効率の検討内容

(3) 次期指定管理者への具体的な業務仕様書や選定基準の公表

(4) 次期指定管理者決定までのスケジュール

① 事業者参入障壁の懸念

2 中学校部活動の地域移行のその先を見据えた市の考え

(1) 協会・連盟、私設、任意団体との連携

(2) 光ヶ丘野球場の照明設備の検討

12番 富 樫 覚 議員

(一括方式)

1 東日本大震災の教訓をどう生かすか

- (1) 大川小学校・門脇小学校から学ぶべき教訓
- (2) 「防災計画」から「自ら判断して逃げる防災」へ
- (3) 避難訓練のあり方の見直し
- (4) 子どもたち自身が地域を知る防災教育
- (5) 語り部・震災遺構から学ぶ
- (6) 酒田市版「防災伝承」の仕組み
- (7) 「防災教育」と「地域防災」をつなぐ

2 デジタル回覧板

- (1) マイナンバーカード登録の必要性
- (2) 自治会長説明会を終えての検証
- (3) 市民への説明
- (4) 使用料の自治会負担
 - ① 受益者負担の考え方
 - ② 市全体での使用料の展望
- (5) デジタル化による安心できる環境づくり

23番 市 村 浩 一 議員

(一括方式)

- 1 酒田市遺族会の現状と今後の支援の在り方について
- 2 北前船を活用した観光まちづくりを
 - (1) 「北前船」をテーマとした他市町村と連携した広域観光の確立を
 - (2) 「酒田節」を通じた地域間交流を
- 3 災害時の避難所環境について
- 4 光ヶ丘公園の整備について
- 5 「まちなかエリアプラットフォーム」について

1 番 佐 藤 千佳夫 議員

(一括方式)

1 誰もがいきいきと暮らしやすいまちの実現のために

(1) 高齢者福祉の充実

- ① 第9期酒田市高齢者保健福祉計画及び酒田市介護保険事業計画の
成果と課題
- ② 第10期計画における地域包括ケアシステムの深化とは

(2) 介護人材確保

- ① 介護人材の現状と課題
- ② 介護従事者の離職を防ぐために
- ③ 介護事業における外国人材

3 番 佐 藤 弘 議員

(一括方式)

- 1 障がい者にやさしい案内状
 - (1) 案内状に車いす使用についての一文を
- 2 こども基本法について
 - (1) こどもや若者が意見を言う機会や場
 - (2) こどもや若者から聴いた意見の反映
- 3 「根の力（非認知能力）」から「葉の力（認知能力）」の育成へ
 - (1) 今年度の全国学力・学習状況調査と標準学力検査（N R T）の結果
 - (2) 「根の力（非認知能力）」の育成の見通し
 - (3) 「葉の力（認知能力）」の育成に向けての取組

11番 後藤 啓 議員

(一括方式)

1 大雨災害への対応

- (1) 令和6年7月25日大雨災害の復旧状況
- (2) 日本各地で起こる大雨災害

2 鳥獣被害対策

- (1) 山形県の鳥獣被害対策中間支援組織
- (2) 熊・イノシシへの対応

3 鳥海山・飛島ジオパーク

- (1) 世界ジオパークの認定審査
- (2) 新たなジオサイトの発掘

24番 佐藤 猛 議員

(一括方式)

- 1 災害時の人的受援体制について
 - (1) 熊本地震を教訓とした職員数の把握
 - (2) 人的受援体制の実効性
 - (3) 機能する相互応援協定の取組

- 2 学校・家庭・地域が一体となった学びと居場所づくりについて
 - (1) 学校外の「学び」の場をどう考えるか
 - (2) スクール・コミュニティを活用した地域との連携
 - (3) 先進地におけるモデル事業

- 3 建築基準法の改正による影響について
 - (1) 市内業者への影響
 - (2) 小規模事業者の負担
 - (3) 受注減少や事業の継続

19番 後藤 仁 議員

(一括方式)

- 1 外航クルーズ船の令和9年度の寄港予定
 - (1) 寄港誘致活動と成果
 - (2) ジャパネットクルーズへの対応
 - ① これまでの経過
 - ② 議会への情報開示
 - ③ 今後の取組
 - (3) 外航クルーズ船の寄港に対する市の考え
- 2 土地開発基金廃止以降の企業誘致
 - (1) 具体的な誘致活動
 - (2) 待ちの姿勢になっていないか